

私たちの『商品そのもの』での恩返し。
気持ちも一緒に受け取ってもらえる。得たものはその喜びです。

■お客様の声
(アンケート要書抜粋)

- ・母子手帳を厚かましくも持参したのですが、対応していただいた方にまず「おめでとうございます」と言っていただき、とても嬉しかったです。
- ・店員さんに関して早速、昨年産んだ(女の子)姪っ子に電話して喜んでもらえました。アリガトウ。

■従業員の声

- ・笑顔で帰っていただくお客様が多くスタッフもうれしい気持ちになりました。
- ・双子ちゃんの受付をさせていただいた時は、珍しさ可愛さでいっぱいになりお客様のご成長が楽しみになりました。
- ・里帰り出産をされた方に喜んでいただき、こちらも嬉しく思いました。

企業の取組として、スポーツを通じて、子どもたちの「アタマ」「カラダ」「ココロ」の健全な発育発達を応援する事業を展開している「アシックス」の事業紹介と企業参加の子育て支援事業参加への提案を紹介します。

【アシックス】「子どもの運動能力測定事業」



- ・「スポーツ」を通じて、子どもたちの「アタマ」「カラダ」「ココロ」の健全な発育発達を応援していくとのコンセプトのもと、子どもの運動技能の発達レベルを測定し、運動適性や今後の運動プログラム（具体的な遊び）についてアドバイスを行う有料サービス「キッズスポーツチャレンジ」を幼稚園や保育園、子どもを対象としたイベントなどで実施している。
- ・キッズスポーツチャレンジでは、幼児の身につけるべき運動技能として「移動系」、「平衡系」、「操作系」の3つの動きを基に構成されており、「走力」、「跳躍力」、「投力」、「キック力」、「調整力」、「バランス能力」の6種を測定する。測定した記録は、表やグラフを使って分かりやすく示すとともに、同じ月齢の平均値との比較、得手不得手のバランスなど、各自の運動技能の発達レベルを詳しく分析したデータなどを伝える。また、クラスター毎の運動技能の発達レベルやその経年変化などを示したデータなどを提供するほか、各能力を向上させるための具体的な遊びを提案するなど、幼児の健やかな発育発達をより効果的に支援するための施策を立案するための資料として活用できる。

■ 子どもの運動の効用



- 大脳皮質が発達する。
全身運動による脳への刺激によって、脳が活性化する。
- 神経系が発達する。
脳への酸素供給量が増えることで、子どもの神経系が発達する。
- 体力が向上する。
- アイデンティティが向上する。
スポーツを通じて自己を認識する力、物事に取り組む力などを向上させることができる。
- 共感性が向上する。
スポーツを通じて他者との結びつき（他者を認め、受け入れる力など）を深くすることができる。
- 社会力が向上する。
スポーツを通じてルールやマナーを守る力、協調性などを身につけることができる。

子どもの育成プログラムとして
運動は有効な手段である

Copyright (c) 2010 ASICS Corporation. 許可のない複製は固く禁じます。

Institute of Sport Science

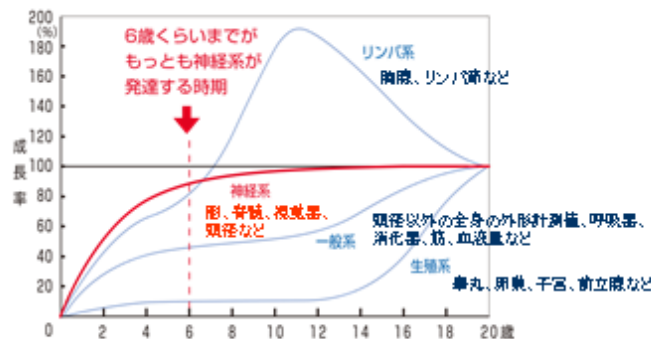
■ キッズスポーツチャレンジの意図



1. 子どもの運動の重要性について啓発し、運動に取り組むきっかけ作りとする。
2. 的確なフィードバックにより、運動の得意分野を見出して体を動かすことに対する子どものモチベーションを高める。

幼児期

この時期は、巧緻性やバランス感覚などが発達するので、様々なスポーツや遊びを体験させることが重要。そのなかで、基本的な運動動作の習得を目指す。また、この頃はスポーツとの出会いの時期でもあり、気軽に楽しく運動できるような配慮が必要。



Copyright (c) 2010 ASICS Corporation. 許可のない複製は固く禁じます。

Institute of Sport Science

■ 測定項目



移動系	10m走(走力) タイムを光電スイッチで測定 	立ち幅跳び(跳躍力) 距離を測定
	ジャイアントフット走(調整力) 大きな足型に乗って10m区間を走るタイムを光電スイッチで測定 	バランス歩き(バランス能力) 平均台の上を5m前進するタイムを光電スイッチで測定
操作系	テニスボール投げ(投力) ボール速度をスピードガンで測定 	サッカーボール蹴り(キック力) ボール速度をスピードガンで測定

Copyright (c) 2010 ASICS Corporation 許可のない複製は固く禁じます。

Institute of Sport Science

■ 測定結果(個人)



個人用フィードバック用紙

【個人へのフィードバック】

記録、能力発達レベル(レーダーチャート)、ランキング、過去の記録履歴

※月齢ごとに評価するので、成長の著しい幼児の能力を的確に捉えていただけます。

※能力レベルによって経年比較が可能です。

参加者(保護者)は、携帯電話やPCからインターネットを介して、全国平均や全国順位を閲覧できます。

Copyright (c) 2010 ASICS Corporation 許可のない複製は固く禁じます。

Institute of Sport Science

- ・近年、生活環境の変化などから、子どもの運動不足に起因する体力の低下や肥満傾向児の増加があげられている。特に、幼児については、全国レベルで比較できる数値がなく、かつ、月齢による差が大きいため、運動能力を客観的に把握しきれない、といった現状がある。このため、子どもの運動発達レベルを定量的に把握し、楽しみながら体を動かす機会を多く提供することが、育成プログラムとして重要である。
- ・幼児の健やかな発育発達を支援する子育て支援事業として、各自治体と連携して幼児検診時や幼児教室などで「キッズスポーツチャレンジ」を開催することを提案する。
- ・子育て支援事業として拡大展開させるためには、企業のCSR活動としてではな

く、ソーシャルビジネスとして成立させることが重要であるとする。

■ 子育て支援事業参加案

テーマ 体験して学べる、子どもの体力向上

各自治体で実施している幼児検診時、幼児教室で、
子どもの運動の重要性の啓蒙から、適切な製品の推奨を行う。

わが子の体力は
全国平均でどのくらいなのか？

①「子どもの体力測定」イベント

子どもの体力向上のためには
どんなことをすればいいのか？

②運動教室

どんなシューズやウェアなどを
選ばよいか？

適切な商品の推奨

Copyright (c) 2010 ASICS Corporation 許可のない複製は固く禁じます。

Institute of Sport Science

■ キッズスポーツチャレンジ展開イメージ

参加者を受付。(参加人数目標：100人/日※運動教室参加者は別途受付)

数種目の体力測定メニューに挑戦!!

■ 10m走

■ 立ち幅跳び

■ ジャイアントフット走

測定値を月齢の運動能力レベルで評価した参加証(測定結果)をお渡し。
合計点の優秀者には、オリジナルグッズ(例:金メダル)を賞品として進呈。

Copyright (c) 2010 ASICS Corporation 許可のない複製は固く禁じます。

Institute of Sport Science